真岡市社会福祉協議会×市議会



会長
田口　司 さん



事務局長兼次長
吉住　忠明 さん



次長補佐兼
地域福祉係長兼施設係長
堤　芳弘 さん



次長補佐兼
自立相談支援センター係長
榎戸　忠明 さん



総務係長兼生活支援係長兼
成年後見サポートセンター係長
櫻井　由香 さん

真岡市社会福祉協議会の皆様と座談会を行い、地域福祉の現状や課題について意見交換を行いました。

社会福祉協議会では、受託金や寄附金などを活用しながら、自立支援事業、法律相談、成年後見制度の利用支援、ひまわり園・さくら事業所の運営、車いす・福祉車両の貸出、福祉教育、手話ボランティアの育成、、災害ボランティアセンターの設置など、多岐にわたる事業を展開しています。

■生活支援体制整備事業（移動スーパー）

市から委託を受け、高齢者や免許返納などにより買い物が困難な方を支えるため、軽トラックによる移動スーパーを市内約40か所で巡回しています。一方で利用者数の減少傾向もうかがえます。買い物の場所としては勿論ですが、近所の方と顔を合わせる場としても大切な機会となっています。









■老人給食サービス

調理ボランティアと配送ボランティアの協力により、一人暮らしの70歳以上の方や、高齢者のみの75歳以上世帯で調理が困難な方へお弁当を届けています。配食だけでなく、訪問時の見守りも重要な役割となっており、地域で高齢者を支える仕組みとして大きな役割を果たしています。



■福祉教育の取組

小学校4年生を対象に、高齢者体験や車いす体験、当事者との交流、災害ボランティアの講話などを実施しています。また、学校以外でも視覚障がいのある方とコミュニティバスに乗車したり、一緒にカレー作りを行ったりする体験活動を実施しています。交流を通して、一人一人に得意・不得意があることや、「同じ真岡市で暮らす仲間」であることを学ぶ機会となっています。



■市議会へ期待すること

「悩みや困りごとを抱える方を社会福祉協議会につないでほしい」「日々の活動の中で、必要がある方に社協の事業や活動の周知を行ってほしい」との期待が寄せられました。また、ひとり親世帯などの母子会など従来の事業も時代とともにニーズが変化していることから、市民の困りごとに寄り添い、必要とされる事業へ柔軟に取り組んでいきたいとのお話がありました。今回の座談会を通して、地域福祉は行政だけでなく、多くのボランティアや地域の皆様に支えられていることを改めて実感しました。市議会としても、社会福祉協議会との連携を深め、必要な支援が市民へ届くよう取り組んでまいります。